

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム こもれば

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 2 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	浸透を客観的に測れ、またそれが職員の有用感につながる仕組みがあるなおと良いと思います。	グループホームでの目標を立てます。	毎年、職員は自己の目標を立て、評価していましたが、グループホームでは目標を立てていませんでした。今年は、グループホームでも1年の目標を立て、施設内に掲示し、職員と共有し実践します。	12ヶ月
2	(5)	念のため一時性、切迫性、代替性の書類用意を期待します。	今年も身体拘束をしません。緊急やむを得ない時の為に書類を用意します。	身体拘束について今後も施設内外の研修に参加し、身体拘束について勉強していきます。今後、やむを得ない時のために身体拘束の書類を用意します。	12ヶ月
3	(13)	今後は夜間想定、災害伝言ダイヤルの実施を期待します。	グループホームで災害伝言ダイヤルを実施します。	毎年、会社全体では、災害伝言ダイヤルをやっていましたが、グループホームのみではやっていませんでした。今年はグループホームでも連絡網を使い、災害を想定して電話やメールで実施します。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。